



## 「CMYK」と「RGB」の違い

今回は印刷の基本である「CMYK」と「RGB」の違いについてお話します。「CMYK」は主に印刷に使われる色の表現方法で、Cyan=シアン、Magenta=マゼンタ、Yellow=イエローの三色、そしてKey plate=キープレート(≒墨)の4色を混ぜて色を表現します。重ねるほど色が濃く暗くなるのが特徴です。「RGB」は主にディスプレイなどデジタルの媒体で使われるもので、Red=赤、Green=緑、Blue=青の3色を混ぜて色を表現します。重ねるほど色が明るく白に近づく特徴があります。実はCMYKよりRGBの方が表現できる色が多いのですが、印刷時にインクで表現できる色により近づけるために印刷用データを作るときはデジタル作業でもCMYKの色を使います。もしCMYKに変換せずRGBをそのまま印刷していたら、画面で見るとより暗く濁った色合いになってしまいます。また、ディスプレイで見るCMYKと印刷したCMYKの見え方がまったく同じという事は中々ないので印刷した時に希望通りの色が出せるように微調整を繰り返してキレイな印刷物は完成します。

さて少し話を発展させて、で蛍光色のような明るい色を印刷したいときはどうしているのか。そのような時には「特色」と呼ばれる色を使います。CMYKの4色を混ぜて作れない色用に特別に調合されたインクで色の幅がとても広がります。華やかに派手な色を使いたい…一色で綺麗に表現したい…という時には特色がとっても有用です。



CMYK

我が社の  
取り組み

チーム活動

改善活動

## 「5S」でしっかり環境整備！！

5月に入り初夏の陽気になってまいりましたね。今回は弊社で取り組んでいる環境整備について紹介したいと思います。環境整備と聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？「職場が清掃されてキレイ！」「道具や日用品が整理整頓されて使いやすい！」といった感じでしょうか。弊社で取り組んでいる環境整備は、5S(「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の頭文字)を重視して行われています。

## 【整理】(捨てること)

- ①いる物といらぬ物を明確にし、必要最小限度までいらぬ物・使わぬ物を捨てる。
- ②いらぬ物を捨てて、探す時間をなくす。

## 【整頓】(揃えること)

- ①三定管理(定品・定位・定量)を徹底する。
- ②使った物はもとの位置に戻す。
- ③物を置く時は向きを揃える。

## 【清掃・清潔】(維持すること)

- ①今日はここだけという部分を計画表に基づいて、徹底的にピカピカに磨き込む。

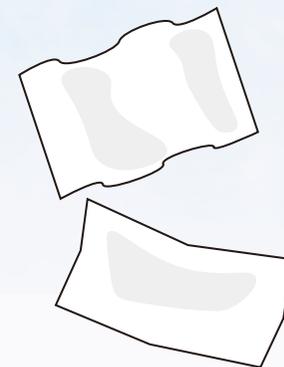
## 【しつけ】

- ①決められたことをきちんと守る

これらを徹底的に行ない、職場で働く人の考え方を共通化し、仕事のやり方や考え方に気付く習慣を身に付けられるよう日々取り組んでいます。今期夏頃に一度ベンチマーキングを行えればと思っており、準備しております。

## 雨季は印刷の敵！！

春夏秋冬… 私たちの住む日本ほど、四季に恵まれた国は世界でも稀だといわれます。しかし、〈感圧紙〉にとっては、四季それぞれが恵まれた環境とはいえません。高温多湿の夏、そして憂鬱になる梅雨期や長雨…印刷にとってもニガテなシーズンがやってきます。家で窓際などに置いておいた紙がしわしわになってい



た……という事はありませんか？実はそれは湿度によって「紙グセ」が起きているんです。「紙グセ」は湿度が高すぎても低すぎても起こる厄介なトラブルで、印刷するときにはかなり注意するポイントでもあります。

代表的な紙グセに「波打ち」と「おちょこ」と呼ばれるものがあります。「波打ち」はその名の通り、紙が波のようにしわしわとしてしまいます。これの原因は大気の高湿度なこと、梅雨時期には特に注意が必要です！

「おちょこ」は逆に湿度が低すぎると起こる現象で、大気中に紙の水分が抜けてしまい、紙の隅がせり上がり酒器のおちょこのような形になることからこう呼ばれます。

その他にも「カール」という大きく紙が湾曲してしまう紙グセなど様々なトラブルが起きないように、安田印刷工業では、適切な温度・湿度で印刷工程を行なえるよう毎朝日課の湿度のチェック・掃除は欠かせません。